２０２３年（令和５年）　１１月５日　日曜日
東奥日報　１０面　掲載

全国高校サッカー県大会　きょう決勝

山田高27連覇か・野辺西が初Vか

第102回全国高校サッカー選手権県大会は5日、青森市のカクヒログループアスレチックスタジアムで青森山田―野辺地西の決勝を行う。両校の決勝対決は7年連続。昨年は延長までもつれる大接戦となっており、今大会も熱戦が期待される。試合は正午にキックオフ。

青森山田は高円宮杯U―18プレミアリーグ東地区で首位を走るなど、今季も戦力が充実。スーパーシードで初戦となった3日の準決勝は八工大一に11―0で快勝した。持ち前のハードワークと球際の強さで圧倒し、1トップのFW米谷が6得点、MF芝田も3アシスト2ゴール。守備面でも最後まで集中を切らさず、シュートを1本も許さなかった。決勝も攻守で主導権を握り、27年連続29回目の頂点を狙う。

野辺地西は八戸学院光星との姉妹校対決を4―0で制し、決勝に駒を進めた。前半15分にFW長谷川がヘディングシュートで先制ゴールを挙げると、勢いづいた攻撃陣が後半に3得点。豊富な運動量とハイプレスで優位に試合を進めた。1得点のFW成田は裏への抜け出しで度々好機を演出。途中出場のMF千葉龍の活躍も光った。決勝でも粘り強い守備からの攻撃で得点を挙げ、初優勝をつかみ取りたい。

（本田海輝）

東奥日報社提供
この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです